

いわみざわ 市議会だより



Iwamizawa City Hall コンサートを議場で初開催しました。
北海道教育大学岩見沢校学生音楽団体 MoIM（モイム）の
みなさんの美しい音色や歌声が議場に響き渡りました。

今号の主な内容

- 質問項目・一般質問 2
- 審議結果 9
- 意見交換会を開催します・編集後記 10

令和5年第4回定例会は

12

月上旬
開会予定です。

定例会はどなたでも傍聴できます。
詳しい日程は市議会ホームページを
ご覧ください。

一

般

質

問

第3回定例会において、市の施策の状況や方針等について、13人の議員が市長、教育長などに対して一般質問を行いました。紙面の都合上、要約し掲載いたします。

一般質問項目一覧

※大項目のみ掲載

市民クラブ 豊岡 義博 議員

1. 地域おこし推進員について
2. 猛暑に対する市内の小中学校及び児童館の対策について

市政クラブ 太田 博之 議員

1. ふるさと納税について
2. 当市における地域公共交通について
3. 旧競馬場施設並びにハロonz岩見沢について
4. 放課後児童クラブについて

民優会 日向 清一 議員

1. クールビズからナチュラルビズへの移行について
2. 異常高温下における教育委員会の対応について

みどりの会 松本 一郎 議員

1. 少子高齢化社会における「労働人口」の確保について

みどりの会 河合 清秀 議員

1. 市民の带状疱疹発症を抑えたり、重症化を防ぐために

2. 市立学校の設置主体である市長に各学校の暑さ対策について

市民クラブ 宮下 透 議員

1. プレミアム付建設券発行支援事業について
2. 公共施設の照明及び市道街路灯のLED化について
3. 新市立総合病院建設について

公明党 斉須 正友 議員

1. 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」について
2. HPVワクチンの男性への接種助成について
3. こどもファスト・トラックについて

市民クラブ 枝廣 晴基 議員

1. 公共施設の統廃合、再編問題について
2. 義務教育学校について

公明党 猪口 満雅 議員

1. 夏の暑さ対策について
2. 森林環境譲与税について
3. 新病院建設について

民優会 坂井 照美 議員

1. これからの女性活躍について
2. 岩見沢市における男性職員の育児休業について
3. 生理用品の無料配布について
4. 学校における生理用品の配布の配慮について
5. 小規模保育事業所の現状について

日本共産党議員団 山田 靖廣 議員

1. 異常な猛暑への対応について
2. 環境問題について
3. 生活保護行政について
4. 児童生徒の健康・命を守る取組について

日本共産党議員団 上田 久司 議員

1. 「マイナ保険証」問題への対応について
2. インボイス制度の見直し、延期を求める取組について
3. エアコン設置と暑さ対策等について

民優会 大和 勝 議員

1. 手話に関する施策の効果、また今後の方向性について

猛暑における小中学校、児童館の対応について

児童館の対応について



市民クラブ 豊岡 義博

館の対応と冷房機器の整備

猛暑における小中学校、児童

【教育長】全ての小中学校の保健室に冷房機器が設置されているが、普通教室はほとんどが未設置。児童館等では稲穂児童館に設置されている。今年の記録的な猛暑を反映し、特に伊達市で発生した痛ましい事故の後、保護者の方々、学校や児童館の関係者からも早期設置を期待する声が寄せられた。

教育委員会では校長会議や教頭会議において、環境省の熱中症予防情報サイトを活用した暑さ指数の確認方法の周知や、学校の実態を踏まえた適切な対応について、繰り返し確認した。児童館においても同様の対応を館長連絡会で周知している。

各学校ではきめ細かに暑さ指数を確認し、比較的風通しのよい教室で授業を行い、水筒の中身を補充でき

るよう冷水を準備し、体を冷やすことができるタオルやネッククーラー等を持参してもよいことを周知するなど、学校や児童生徒の実態を踏まえた熱中症対策に取り組んできた。熱中症警戒アラートが発令された際には、下校時間の繰り上げや屋外活動の中止、体育の授業や運動部活動への注意喚起、屋外活動を伴う学校行事の延期などの措置を指示した。熱中症リスクを低減するとともに、子供たちが快適に生活し、保護者の方が安心できる環境として、冷房機器の必要性が増していると考える。しかしながら整備には大きな予算を要するため、市長部局とも連携しながら検討している。



一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：豊岡議員

当市における

地域公共交通について



市政クラブ
太田 博之

公共交通による公共施設への移動の利便性と運賃の在り方

急速な高齢化及び人口減少に対応した地域交通の在り方・今後の展開

【市長】2つの質問を合わせて答弁いたしますが、市内の公共交通網については、都市機能の集積する中心部と地域の生活拠点が路線バスにより結ばれており、住宅が点在し路線バスの運行に適さない農村部を、デマンド型乗合タクシーで補完することにより、市内全域をカバーする交通ネットワークを形成しており、主要な公共施設への移動についても、既存の公共交通網で全て移動できる体系となっている。

加えて、市内の全てのバス路線で赤字が続いている現状を踏まえ、新たな路線の追加や拡充については、交通事業者のさらなる収支の

悪化、ひいては既にその負担が限界となっている市の補助金の増加にもつながることから、まずは既存路線の維持と、その効率的な運行、利用促進に向けた取組を進めてまいりたいと考えている。



一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：太田議員

クールビズからナチュラル
ビズへの移行について



民優会
日向 清一

クールビズからナチュラルビズへの移行

【市長】クールビズやウオームビズについては、岩見沢市地球温暖化防止実行計画・事務事業編において、温室効果ガス排出量削減に向けた取組として定め、気温の高い夏季には、公務効率の維持と職場の暑さ対策など、仕事のしやすい環境づくりを目的として、平成16年度に1か月間のノーネクタイの試行から開始し、現在は、6月から9月までの4か月間にワイシャツだけでなく、ポロシャツの着用も認めた、軽装執務として実施している。

気温の低い冬季には、室温に合わせて、職員が各々の判断の下、ひざ掛けの利用や重ね着などを行い、体感温度を上げつつ、働きやすい服装での執務を行っている。

今後については、1年を通じ、空

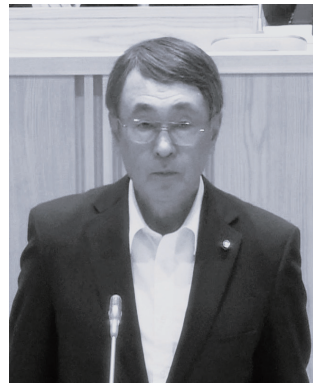
調設備の効率的な運用による執務室の温度管理を適切に行い、冷暖房に頼りすぎない服装での執務により、働きやすさ、公務職場にふさわしい服装と省エネルギーのバランス、市民へのPR効果等を勘案しながら、温室効果ガスの排出を抑える手法として、ナチュラル・ビズ・スタイルも含め、検討していきたい。



一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：日向議員



みどりの会
松本 一郎

「労働人口」の確保について

岩見沢市の人口減少対策

【市長】 岩見沢市総合戦略において、子ども・子育て施策を重点として位置付け事業展開をした結果、14歳以下の子供と親世代の社会増の傾向が顕著となった。総合戦略の改訂において、子ども・子育て施策については、当市の先進性を、札幌圏を含めた広域的な理解へとつなげるプロジェクトをはじめとした、住みたい・住み続けたいを深化させていくとともに、事業の推進体制の強化の検討など、引き続き、最重点分野と位置付けた取組を進めていく。

労働力不足への対策

合同企業説明会の開催や市広報での市内企業紹介等、企業とのマッチング機会の充実や労働環境の改善を図るとともに、中小企業労働者の職業訓練の実施やデジタル人材の育成

など、技能者の育成と新たな雇用創出に取り組んでいる。

「労働人口」減少時の、社会インフラの維持と対策

労働力不足の解消に向けた取組に加え、女性や障がい者、高齢者の社会参加促進の取組など、労働人口の拡大と、ICT基盤を活用したスマート農業の推進など、人口減少に適応した、効率的で利便性の高いまちづくりに取り組んでおり、今後も、持続可能な環境・社会・経済の実現に向けた取組を進めていく。

「外国人労働者」の活用・サポート体制

関係機関と連携し、外国人就労に関する情報提供に努めるとともに、市内在住の外国人労働者に対しては、事業者とも連携して、地域での生活上の必要ルールを周知するなど、事業者と外国人労働者、双方のサポートに努めたい。



みどりの会
河合 清秀

市民の带状疱疹発症を抑えたり、重症化を防ぐために

带状疱疹疾病の特徴や合併症

【市長】 带状疱疹は水痘と同じウイルスによって起こる感染症で、子供の頃に感染し、体内に潜伏していたウイルスが带状疱疹として発症するもので、加齢による免疫機能の低下や過労等が原因と考えられ、主な症状は、神経痛のような痛みや違和感その後、身体の左右どちらかの神経に沿って帯状に発疹や水泡が生じ、一般的には3週間前後で治まると言われているが、治療が遅れたり、治療しなかった場合には、発熱や頭痛などが現れることがある。

合併症としては、痛みが長期間持続する带状疱疹後神経痛があり、50歳以上で発症した人のうち約20パーセントが発症すると言われ、他にも、視力の低下や難聴、麻痺や排尿障害などもある。

带状疱疹ワクチン

現在、ウイルスの毒性を弱めた生ワクチンと、ウイルスの感染症を無くした不活化ワクチンが薬事承認されており、生ワクチンは1回接種で約8千円、予防効果は約5年間持続することが確認され、不活化ワクチンは2回接種で1回あたり約2万円、予防効果は約10年間持続することが確認されている。

带状疱疹予防接種費用の助成をしている自治体

本年7月末時点において、道内35市のうち、網走市と根室市の2市で費用の半額程度を助成している。

岩見沢市における带状疱疹ワクチン接種費用補助の予定

国において、定期接種化を検討しており、本市においては、現時点で接種費用の助成は考えていないが、他の自治体の助成状況等を調査しつつ、引き続き、国の定期接種化に向けた動向を注視していく。

一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：松本議員

一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：河合議員



市民クラブ
宮下 透

公共施設の照明及び 市道街路灯のLED化について

LED化の進捗状況

【市長】これまで施設の建て替え、大規模改修に併せて進めてきたところであり、近年では、市役所本庁舎や栗沢市民センターの建て替え、北村温泉やメープルロッジの大規模改修の際に、LED化を行ってきた。その結果、公共施設の進捗状況は、令和4年度末で、照明器具6万4千68基中、1万6千371基をLED化し、25・6パーセントとなっている。

また、市道街路灯のLED化については、電力消費量が大きく、製造が中止になることが決まった水銀灯において、平成28年度から市の単独事業で毎年5千万円規模の予算を確保し、積極的にLED化を進めている。その結果、街路灯の進捗状況は、令和4年度末で、4千188基中、1千551基のLED化が完了し、37

パーセントとなっている。

なお、町会等で管理する街路灯については、平成25年度から街路灯設置報奨金による助成を実施し、その結果、令和4年度末で、町会等管理街路灯6千664基中、6千264基がLED等の省エネ化を完了し、94パーセントとなっている。

今後の促進についての考え

本年策定した、岩見沢市地球温暖化防止実行計画では、温室効果ガスの排出量を削減するため、公共施設や街路灯のLED化に取り組むことを基本施策の一つとしている。

この実行計画に基づき、建て替えや大規模改修に併せたLED化を進めることに加えて、既存施設に関して、公共施設マネジメントとの整合性を図りながら、計画的に照明設備のLED化を推進する。

一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：宮下議員



公明党
斎 須 正 友

こども ファスト・トラックについて

本市での取組

【教育長】今年度創設された、こども家庭庁より、こどもファスト・トラック等の全国展開を推進していることを受け、北海道から6月28日付で、その取組について通知があった。

教育委員会は、このまちで、子供を産み、育てたいという思いに応える環境づくりとして、えみふるを拠点とし、子ども・子育て支援の充実に取り組んでおり、こどもファスト・トラック等についても、他の自治体の事例を参考に、検討していく。

将来を担う子供を社会全体で 育てていく機運の醸成

市の子ども・子育てプランは、第1期の策定当初から変わらず、ひとの絆で紡ぐ笑顔の輪を理念に、子供を真ん中にして、様々な年代、様々な立場の人が関わることを基本に策定しており、社会全体で子供や子育てを支えることを目指した内容となっている。

その理念を踏まえ、これまでも、親子ひろばや子ども会、子どもの体験活動などにおいて、多くのボランティアの方々や地域で子供や子育てを支えてきた。

今後も、このような地域の取組を広く周知し、少しでも多くの方々に参加していただくことで、子供を社会全体で育てていくという機運の醸成を図っていく。



一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：斎須議員



市民クラブ
枝廣晴基

義務教育学校について

取組状況

【教育長】教育委員会では、令和2年7月に策定した、岩見沢市立小・中学校適正配置計画において、栗沢地区の小中学校の適正配置については、義務教育学校もしくは小中一貫型小学校・中学校として計画を進めるとともに、校舎等の改修についても検討していくと、示したところである。

栗沢地区においては、今年度から、小中一貫型小学校・中学校として一貫教育をスタートさせ、9年間を見通した柔軟な教育課程の中で、子供たちの教育活動を展開している。

教育委員会では、適正配置計画のとおり、現在、校舎の改修についての検討を進めているところだが、義務教育学校については、この改修に合わせて開校することを想定しながら、関係部局との調整を行っている。

現在、教育委員会では、全ての中学校区に学校運営協議会を設置し、保護者や地域の方々の声を学校運営に活かすとともに、地域と共に歩む学校づくりとして、コミュニティ・エリアの取組を進めている。

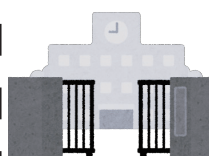
義務教育学校の検討についても、保護者や地域の方々のご理解が不可欠のため、教育委員会としての方向性をお示しできる段階で、学校運営協議会などにおいて、情報共有や意見交換に取り組みたいと考えている。

義務教育学校については、校舎改修に合わせて開校することを想定しながら、検討している。したがって、ご指摘の主旨を踏まえた検討を進めながら、地域の方々のご理解とご協力を得られるよう取り組んでいく。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています



一般質問：枝廣議員



新病院建設について

スケジュールの進捗

【市長】昨年9月に策定した基本計画で示した、令和10年春の開院をめどとする整備スケジュールに基づき、本年から基本設計のフェーズに入り、建設地における配置計画や建物内における各部門の配置を決めるブロックプラン、各部門における諸室の配置などについて両病院の関係部門とヒアリングを実施するなど、精力的に検討を行い、当初どおり本年度末までの基本設計完成に向け取り組んでいるが、実施設計以降の整備スケジュールについては、基本設計の中で精査していく。

労務費、燃油、原材料の高騰に関する影響

品不足や高騰の影響を受けて、建設工事に係るコストはここ数年で大きく上昇し、加えて、北海道内の建設需要が続くことに伴う人手不足も



公明党
猪口満雅

労務費上昇の地域的要因になっていると考えており、建設コストの上昇傾向は建設事業費にも大きく影響があるものと認識している。

概算事業費

建設コストの上昇傾向を踏まえ、基本計画で示した総額344億円の概算事業費は延床面積を計画段階と同じとした場合、大きく増加するものとして想定しており、概算事業費を超えた場合、単にコスト調整を理由として、基本計画で示した診療機能を大きく低下するような変更が生じないよう、事業収支シミュレーションとのバランスも考慮しながら検討する。財源確保については、事業費の縮減や予算の分散化・平準化に向けた検討を進めるとともに、補助金や企業債を最大限活用できるよう調査・検討を行い、財源確保に向け、国や北海道に対し、補助金や交付税措置の拡充について要望も行い、可能な限り実質負担の抑制に努めていく。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています



一般質問：猪口議員



会 優 民
坂 井 照 美

岩見沢市における
男性職員の育児休業について

令和4年度の市男性職員の育
児休業の取得率

【市長】令和4年度の男性職員の取得率は、市職員全体で25パーセントと、前年度と比較し7.1ポイント上昇している。特に、一般行政職において、令和3年度の22.2パーセントから、令和4年度では45.5パーセントと大幅に上昇している。

男性職員の育児休業取得率については、女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画で、令和7年度までに30パーセントを目標としていたが、本年6月13日に閣議決定された、こども未来戦略方針では、一般行政部門において、令和7年までに1週間以上の取得率を85パーセント、令和12年までに2週間以上の取得率を85パーセントに見直すよう要請されており、今後見直しを行う。

育児休業取得率が増えるため
にどのように考えているか

本人の意識も大切だが、職場における理解・協力が重要となることから、仕事と育児・介護の両立支援ハンドブックに、制度や経済的な支援について掲載するほか、職場で育児休業の取得を促すことや、人事担当部局では、出産や育児等の問合せを受けた際には、各種制度の説明を行うなど、育児休業の取得促進に取り組んできた。令和4年度からは、管理職研修や階層別研修で育児休業などの育児参加に係る休暇や制度について説明し、さらなる男性の育児参加意識の醸成に努めている。

今後、男性の育児休業取得率の向上と、子育てを応援する職場環境づくりを進めるとともに、育児休業本来の目的を果たさない、取るだけ育休にならないよう、育児休業の質を高めるような取組も進めていく。

一般質問の録画映像を

YouTubeで
公開しています



一般質問：坂井照美議員



日本共産党議員団
山 田 靖 廣

生活保護行政について

扶養照会

【市長】令和3年4月以降、本年8月までに扶養照会の調査件数は479件で、うち、回答が361件、回答率は75.4パーセントとなっている。その中で、定期的な訪問や連絡といった精神的な支援に結びついたものが58.2パーセントの210件、仕送り等の金銭的な扶養に結びついたものが5パーセントの18件となっている。

エアコンの設置

生活保護制度では、エアコンも含め日常生活に必要な生活用品については、保護費で賄うこととされており、例外として、保護開始時に家具什器の持ち合わせがない場合や、災害により失った家具什器を賄うことができない場合などの特別な事情がある場合に限り、一時扶助として支給が認められている。さらに、冷房器具は世帯に熱中症予防が特に必要

される方がいる場合、最低生活に直接必要な冷房器具の持ち合わせがなく、真にやむを得ないと認められる場合に、6万2千円の範囲内で購入費用の支給が認められている。

本年度、エアコンの設置について6件の問合せがあり、いずれも購入費用の支給が認められない世帯であったため、保護費のやりくりにより購入していただく必要があることや社会福祉協議会の貸付制度について丁寧に説明してきた。

なお、本年は厳しい暑さが続いていたことから、熱中症対策をまとめたリーフレットを配付したほか、単身の高齢者については、電話による安否確認や熱中症予防の注意喚起も行ってきた。今後も引き続き、エアコン購入にかかる助言指導に努めるとともに、熱中症による健康被害の予防について取り組んでいく。

一般質問の録画映像を

YouTubeで
公開しています



一般質問：山田議員



日本共産党議員団
上田 久司

「マイナ保険証」問題への 対応について

—— 国が求める総点検の当市の状況等

【市長】 マイナンバーカードの普及が急速に進み、複数の制度において、制度側で管理する固有の番号とマイナンバーの間に、紐付け誤りがあったことが明らかになり、国において、今年6月にマイナンバー情報総点検本部が設置され、7月から8月にかけて各自治体などに対し、マイナンバーの紐付けに関する実態調査が行われた。この結果を踏まえ、総点検の対象となる自治体を選定されたが、当市は対象にならなかった。

現場での声

マイナンバーカードの健康保険証利用について、医療現場への影響や、暗証番号を記憶し、カードの管理をしていくことが困難であるケースも考えられるが、これまでに医療・介護の施設からの意見や要望はない。

また、市民からマイナンバーカードや制度の不安について、問合せや相談はない。

カードの返納状況は、令和4年度は、カードが不要という理由で2件、マイナンバー制度への不信感などで5件、令和5年度は、8月までにカードが不要という理由で3件が返納となっている。

—— 現存の保険証を残すよう国等に働きかけるべきではないか

現行の健康保険証の廃止は、マイナンバー法等の一部改正法が6月2日に成立しており、国の施策として行われるものと理解をしている。現在課題となっている点についても、国がマイナンバー情報総点検本部を立ち上げ、再発防止と国民の不安払拭のための取組をスタートさせており、現行の健康保険証を残すように求めることは考えていない。

手話に関する施策の効果、 また今後の方向性について



民優会
大和 勝

—— 岩見沢市手話言語条例制定後における施策とその効果

【市長】 手話言語条例は、平成30年4月に、手話に対する理解及び普及に関し基本理念を定め、市の責務及び市民等の役割を明らかにするとともに、手話を使いやすい環境づくりを進めることにより、ろう者を含む全ての市民が安心して暮らすことのできる地域社会を実現することを目的に様々な施策を進めてきた。

新たな取組として、手話言語条例の説明や市広報で手話を毎月掲載するほか、手話通訳者の育成に向け、市独自の取組として、手話奉仕員スキルアップ講座を実施している。

これらの施策により、身近で楽しく手話を体験する機会を提供し、幅広い世代や事業所の方に、手話の理解促進や普及を図るとともに、手話通訳者の人材確保につなげる取組な

ど、安心して暮らすことのできる地域社会への礎を築くことができた。

—— 岩見沢市手話言語条例制定による効果

手話が言語であるとの認識が徐々に浸透し、少しずつ手話が身近なものになりつつあると感じている。このような中、全道ろうあ者大会が29年ぶりに本市で開催され、道内各地から多くのろうあ者の方をお迎えするとともに、私も歓迎のあいさつをすべて手話で行ったところであり、このようなイベントなどにおいても手話に関する理解が年々深まってきたというものと実感している。

—— 今後の手話に関する施策等の方向性

今後も、引き続き、手話に対する理解及び普及に向けた取組や手話通訳者育成に努め、障がいのある方もない方も、誰もが安心して暮らせる共生のまちづくりを進めていく。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています



一般質問：上田議員

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています



一般質問：大和議員

令和5年第3回定例会（9月4日 ▶ 9月15日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第76号	岩見沢市印鑑条例の一部改正について	原案可決
議案第77号	和解の決定について	〃
議案第78号	工事請負契約の締結について（令和5年度市民会館空調設備改修工事）	〃
議案第79号	令和5年度岩見沢市一般会計補正予算について（第5号）	〃
議案第80号	令和5年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について（第1号）	〃
議案第81号	令和4年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	閉会中 継続審査
議案第82号	令和4年度岩見沢市病院事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	〃
議案第83号	令和4年度岩見沢市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃
議案第84号	令和4年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃
議案第85号	教育委員会の委員の任命について	同意 （田中 佳樹）
意見書案第7号	国土強靱化に資する社会資本整備等について	原案可決
意見書案第8号	肥料、燃油などの生産資材等高騰対策の強化について	〃
意見書案第9号	軽油引取税の課税免除特例措置の継続について	〃
意見書案第10号	小中学校への冷房設備の早期整備について	〃
意見書案第11号	教育環境整備のための予算確保・拡充と就学保障実現について	〃
意見書案第12号	ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等について	〃
意見書案第13号	下水サーベイランス事業の実施について	〃

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第3回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める陳情
 - 肥料、燃油などの生産資材等高騰対策の強化を求める意見書について
 - 健康保険証廃止に関わる「意見書」採択に関する請願書
 - 岩見沢市における国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について
 - 「補聴器購入時の公的助成制度創設」の意見書提出についての要望書

2023
11.20 [月]

[参加費] 無料

地域会場

17時～18時

「地域の課題」を中心に
意見交換を行います。

メイン会場

19時～20時

「新病院建設」をテーマに
グループワーク形式で
意見交換を行います。

岩見沢市議会議員と 市民との意見交換会

地域会場 【3会場同時開催】

お住まいの地域の会場へご参加ください。事前申し込み不要です。
地域会場終了後、メイン会場での意見交換会にもご参加ください！



幌向総合コミュニティセンター
ほっとかん



栗沢支所



北村支所

メイン会場

事前申し込み不要です。
どなたでも、ぜひご参加ください！



生涯学習センター
いわなび

ラジオで定例会の告知をしました！

令和5年9月6日（水）にFMはまなすで放送の
“ENJOY！WEDNESDAY” に出演させていただきました。

令和5年第3回定例会の開催案内や広報広聴委員会の
取組などを紹介させていただきました。



編集後記

広報広聴委員会委員 新井 優也

新体制が始まってから半年が経ちました。今まで岩見沢市議会に関心がなかった世代からも関心を得ていることを強く実感しています。広報広聴委員会では、さらに関心度をUPさせるために新しい風を吹かせてまいります。

また、YouTubeでは定例会を中心に配信していますが、過去にない再生数を記録しています。これからも岩見沢市議会はコンテンツを問わず、まずは皆さんに触れていただき、つながれるように日々邁進してまいります。

[委員長] 宮下 透

[副委員長] 大和 勝

[委員] 新井優也

枝廣晴基

坂井秋子

野尻 清

猪口満雅

山田靖廣

松本一郎

議会の傍聴について

本会議及び委員会は、会議当日に傍聴席入口にて、受付票に住所・氏名等をご記入いただければどなたでも傍聴することができます。

ぜひ傍聴にお越しください。

※ご不明な点は議会事務局までご連絡ください。

議会事務局
Tel 35-4907

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。

岩見沢市議会

